



# ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

## REPORT ④

### 危険物の安全意識を高める 備北消防「油漏れ想定訓練」



▲点検箇所を確認する参加者

庄原消防署高野出張所が6月16日、神野瀬川で「油漏れ想定訓練」を行い、消防署員や市役所高野支所職員、温泉管理者など15人が参加しました。

訓練は、「たかの温泉」のボイラー用地下タンクから油が漏れ、神野瀬川へ流出したことを想定。川の中にオイルフェンスを張り、吸着マットを敷き詰めるなど本番さながらに行われ、消防署員の迅速な作業と手際の良さに見守った参加者は感心していました。

訓練後は、実際に事故が発生した場合の対応の仕方や、地下タンクの点検箇所などを梅木隆司所長が指導。温泉管理者の須安登茂美さんは「事故がないように点検に努めたい」と気を引き締めていました。



▲吸着マットを敷く消防署員

## ホタル見カフェオープン サムデイシェフの青空カフェ

## REPORT ⑤

6月27日、西城町大屋地域の自治振興区「今櫛会」が毎年開催しているホタル見会にあわせて、青空カフェがオープンしました。

青空カフェとは、西城の美しい自然の中で、地元の産物を生かしたカフェを開こうという試みで、西城地域で取り組むクラスターのまちづくり実現プロジェクトのワークショップ「西城円卓会議」から生まれたアイデアです。呼びかけに応じて、手づくりの料理やお菓子で人をもてなすのが大好きな人、いつかは飲食店を開きたいという夢を持つ人など14人のサムデイシェフが集



▲「食材も料理の腕も最高」と感心する参加者

まりました。

青空カフェでは、西城産の野菜や果物を中心に食材を集め、「夏苺のロールケーキ」や「ごぼうのガトーショコラ」、「グリーンアスパラの冷製スープ」など6品のメニューを用意。地域内外から集まった参加者は、地域食材との新しい出会いとホタルの乱舞を満喫しました。

100食分を完売したメンバー

は「大好きな料理を通して、地域の元気作りに役立てるのがうれしい。次回はもっとレベルアップするようみんなががんばりたい」と今後の抱負を話していました。

## REPORT ⑥

### 新庁舎で初ライブを開催 シティーホールライブ in TANABATA



▲2階で立見が出るほどの人気

新庁舎を市民の憩いの場にしようと、市内の社会人や大学生17人が7月3日、市役所で「シティーホールライブ in TANABATA」を開催しました。

会場には七夕にちなんでササを飾り、浴衣を着て演奏。「千の風になって」「未来予想図Ⅱ」など10曲を披露し、ピアノやギター心地よい音色と透き通る歌声がホール全体に響きました。

ライブ実行委員の山口雪子さんは「市民ホールはとってもいい雰囲気なので、もっとたくさんの方々ライブを企画してほしい」と話していました。

市民ホールの利用は総務課行政係(☎0824-73-1123)まで。

## REPORT ①

### やさしい音色と光に包まれる 総領保育所「ホタル見コンサート」

ホタル見コンサートが6月19日、総領保育所で開催されました。

保育所前の田総川に無数のホタルが飛び交うこの時期、美しいほたと、やさしい音色のフルートコンサートで、ゆったりとした時間を過ごしてもらおうと総領保育所と総領子育て支援センターが企画しました。



▲ペットボトルで作った巨大なホタル

園児や保護者、子育て支援センターに集う親子や地域住民約150人が参加。園児がペットボトルで作った巨大なホタルや、ランプなどの「光のオブジェ」が園庭にライトアップされる中、コンサートやホタル見散策を楽しみました。

コンサートは地元のフルートサークルが、子どもたちが良く



▲フルートサークルの演奏

知っている曲や星にちなんだ曲など約10曲を演奏。また、子育て推進委員の竹口ひとみさんによる指導で、麦わらのほたる籠作りが行われ、味わいのあるほたる籠ができました。

保護者は「フルートの音色がきれいだった。来年もぜひ開催してほしい」と話していました。

## 地域つなぎ笑顔広がる子育ての輪 東城スマイル交流会

## REPORT ②



▲「しゃぼんくん」の周りで遊ぶ子どもたち

子育て家族や地域住民の交流を図ろうと、第3回「スマイル交流会」が6月22日、東城児童健全育成施設「こどもの館」で開催され、親子連れや保育園児など約300人でにぎわいました。

東城地域子育て支援センターの主催で、子育て推進委員・応援団や民生委員児童委員、育児サークル、放課後児童クラブなどが協力。手作りおもちゃ、しゃぼん玉、育児相談、バザーなどの催しが行われました。

しゃぼん玉コーナーでは、しゃぼん玉おじさんの法谷好雄さんが、しゃぼん玉自動発生器「しゃぼんくん」を使い、たくさんのしゃぼん玉を空高く飛ばしました。訪れた子どもたちは「しゃぼん玉が次々に出てきてびっくりした。しゃぼんくんに負けないように、みんなていっぱいしゃぼん玉を飛ばして楽しかった」と話していました。

## REPORT ③

### ミュージカル体験で笑顔いっぱい 口南小が芸術鑑賞会

口南小学校の芸術鑑賞会が7月10日、同校体育館で行われました。今回はミュージカルを体験してみようと、「庄原市こどもミュージカル」の演出などを手がける増田明さんら10人を招待。子どもたちは、ミュージカルの練習にも取り入れている「ボディートーク」を体験したり、小演劇を見たり、臨場感あふれるステージを楽しみました。

最後に子どもたち全員が笑顔いっぱいで「怪獣のパレード」を踊ると、保護者から「とても楽しそうな笑顔が見られた。来年はこどもミュージカルに挑戦させようかな」などの声が聞かれました。



踊りを楽しむ子どもたち ▶

REPORT ⑩

都市住民と伝統行事を楽しむ

越原で「ちまきづくり体験」

半夏のちまきづくり交流会が7月5日、ふれあいの里越原で開催されました。

比和町越原では、1年のちょうど真ん中にあたる日を「ハング」といい、しょうぶ酒やちまきを食べて農作業の疲れをいやす風習があり、この伝統的な行事を次世代へつないでいこうと毎年交流会を企画しています。

この日は、呉市や広島市などから22人が参加。地元住民が指導しながら、地域のもち米やクマザサを使い蒸しあげ、山菜料理などとともに、地元ならではの味を楽しみました。



▲地域に自生するクマザサを準備する



▲ちまきづくりを体験する参加者

参加者の中には「毎年楽しみに参加させていただいている。笹の香りのするちまきのおいしさは、もち好きにはたまらない」と話していました。

保育所などで修繕ボランティア  
広島県建設労働組合が「住宅デー」

REPORT ⑪

建設労働組合では、奉仕活動を行う日として6月25日を「住宅デー」とし、この日を中心に各地域で、技術奉仕活動を展開しています。

市内では、12地域連合庄原の61人が、地域ごとに6月25日～28日に実施。高野・口和地域で「ひとり暮らし高齢者の住宅修繕」、庄原・東城・西城地域で「保育所の修繕」などに取り組みました。

東城地域の田森・八幡保育所と子育て支援センターでは、ままごと台・玄関コンクリートの修繕、砂場の日よけなどを整備。翌日、保育所には「わー変わるとる!」「きれいになっとる!」など子どもたちの歓声が響き、職員は「子どもたちにとっての環境の大切さを実感した」「大変ありがたく感謝している」と喜んでいました。



▲田森保育所のままごと台を修繕

REPORT ⑫

西城比和線の一部開通を祝う  
健康づくりウォーキング

健康づくりウォーキングが6月21日、主要地方道西城比和線の一部開通区間をコースに開催され、地域住民約120人が参加しました。

健康運動指導士の金子昌子さんの指導で、比和のまちなか約3キロを無理なくウォーキング。気持ちのいい汗を流した後は、「あけぼの荘」に設置された「足湯Deジェット」で、日ごろの疲れをいやしていました。

参加者には、女性防火クラブによる豚汁・おにぎりなどが配られ、参加した豊浦奈美さん(比和中1年)は「いい汗をかいて、おいしい豚汁を食べて、とても楽しかった。また参加したい」と話していました。



▲あけぼの荘前を出発する参加者



▲大釜で豚汁を作る女性防火クラブ

REPORT ⑦

無線放送で安心・安全なまちづくり

川手地区エリアトーク設置事業竣工式

昨年度、地域情報無線伝達システム「エリアトーク」を整備した川手地区が6月20日、川手上集会所で竣工式を行いました。

このエリアトークは、災害時の緊急連絡や自治会のイベント情報などを放送するもの。市の自治振興区活動促進補助金を活用し、川手上、川手沖、川手中、川手下の4自治会が約2,000万円をかけて整備。それぞれの集会所に設置した送信機から、川手地区約330世帯へ配布した受信機に情報を伝達します。

式には滝口季彦市長や地域住民など約50人が出席。設置推進委員会の椿一孝会長が「平成18年7月の大雨の際、避難勧告の連絡に時間がかかった経験から、無線放送の導入を決めた。住民の安心・安全・ふれあいネットワークづくりに役立てたい」とあいさつしました。



▲あいさつする椿会長



▲各集会所に設置された送信機

大自然に触れ音楽や味覚を満喫

帝釈峡ウォーキング&まほろばコンサート

REPORT ⑧

すがすがしい夏の帝釈峡で7月19日、帝釈峡ウォーキングとまほろばコンサートが開催され、市内外から約200人が参加しました。

参加者は、中四国地方の縄文式土器編年の基準となっている「寄倉岩陰遺跡」や帝釈の鍾乳洞を代表する「白雲洞」などを巡り、時折小雨の降る中、思い思いにウォーキングを楽しみました。折り返し地点では、間近に見る雄橋の迫力に感動しながら、せせらぎの音にほっと一息ついていました。

午後から帝釈小学校体育館で行われたコンサートでは、広島市を中心に活躍中のTHE LOFUTY'S(ザ・ロフティーズ)と梶山シュウさんが歌声を披露。参加者は自然にリズムを取ったり、ステージ前で一緒に踊ったり、「元気をいっぱいもらったね」と喜んでいました。



▲寄倉岩陰遺跡を楽しむ参加者

地域の方々による新鮮野菜や特産品販売のテント村、当日限定のレストランも開かれ、夏の味覚も満喫していました。

REPORT ⑨

仏像や七福神など繊細な作品多数  
地元作家が木造彫刻展

「趣味の木造彫刻展 啄木鳥の会」が7月8日～12日、口和ヒューマンライツで開催され、仏像や七福神などの作品約30点が展示されました。

この彫刻展を開いたのは「啄木鳥の会」で、地元作家の原良三さんと石田武寛さんの2人が出品。「趣味として彫り続けていた作品を多くの皆さんに見てほしい」と初めて披露しました。作品は地域住民から譲り受けた木材の切れ端などで作られており、来場者は「繊細な仕上げが素晴らしい。趣味の域を越えている」と見られていました。

原さんは「木を見つめていると大黒様や観音様などのアイデアが浮かんでくる。これからも楽しんで作品づくりに励みたい」と話していました。



勇壮な木造彫刻に見とれる来場者 ▶